

III. 自由記述（一部抜粋）(全 134 件)

134 人の方からの自由記述がありました。内容が重複しているものなどを除き、主な意見を記載いたします。

- ・そもそも、どういった差別を受けて苦しんでいるかよく理解していない為、このアンケートをきっかけに知る機会ができました。(男性、18～29 歳)
- ・同和問題について知らないまま育った時のデメリットや、思考への影響について知れたら、同和問題への関心が持ちやすいかもしれません。(女性、18～29 歳)
- ・この封書が送られてきて同和地区とはまずどこのことなのか、を調べてみようと思いました。しかし、具体的な答えはあまり出てこず、イメージしづらかったです。具体的な地域が書かれていれば、今また差別が行われるからではないか、と推測しますが、イメージは持ちにくかったです。わたしが同和教育で覚えているのは高校の頃の人権学習で講演が行われたことです。京都府の高校です。元々全国水平社が奈良県にあったこと、だから近畿地方は他府県に比べて部落差別の問題は取り上げて教育されていること、等うっすらとした記憶があります。わたしにとって、部落というのは古いというイメージがあるので令和の今もなお続いているんだろうかという印象です。高校の講演のときには、部落差別があるから結婚がはばかられたり、親世代だけではなく、そこに生まれた子どもにも影響がある、というのを学びました。今もその差別が続いている地区があるのであれば、対策は必要だと思います。生まれた場所による選別は必要ないと思います。
(女性、18～29 歳)
- ・大東市へ引っ越してきて2年ほどです。元々は四国の出身のため、この地域のことはあまり詳しくありませんでした。私自身の地元(中学校区域)が部落地域のある校区であったため、この問題について知っておりまして。大阪にも同じ問題があるのだなあと思いました。若者は知っても知らなくても何も思わないのではないのでしょうか。「昔のこと」と学習すれば時間が解決すると思います。地元の部落地域の友人は祖母に「結婚するときにきちんと相手話しなさい」と教わったそうです。伝えることや学習することが必要な？と個人的には思います。(女性、18～29 歳)
- ・地域で取り組むのは大事だが、繊細な問題過ぎて、活発には意見しにくい気がする。(男性、40～49 歳)
- ・このようなアンケートをする時点で更なる差別を広げると思う。知らなかった人も調べれば分かるし、そんな昔の話を今更気にする必要は無いと思う。ただ、その張本人達が気にしすぎて何も思っていない人達を傷付けている現状もあることを理解すべきだと思う。(女性、40～49 歳)
- ・もう部落差別などないと思っているので今回のアンケートが届いたことを疑問に感じました。
(女性、40～49 歳)
- ・出身県が同和問題が色濃くあるところなのもあり、こどもの頃から道徳の授業で普通に提起していました。大人になり、大東市に住むようになってから「そういえばこの辺は同和問題があるのかな？」とふと思い、いけないのかもしれませんが調べてみたりしました。(詳しくはよくわからず)大東市でもまだ差別に苦しむ人や地区はあるのでしょうか？どのような課題があるのでしょうか？現状を知る機会があればと思います。「だいたい」で取りあげるのは難しいですか？(女性、40～49 歳)

- ・今まで若い世代や難しいことから学んでなかった人からすると、このような調査は問題をむしろ返すのではないかと感じた。同和がイヤで離れた家族もいる中、今さら？とも思う。そっとしておくのも必要ではないか？とも思う。(いずれでもない、40～49 歳)
- ・私は子どもの頃から大東市に住んでいます。小学か中学かは覚えていないのですが、道徳の時間に聞いたことはあります。大変なんだねと思ったこともありましたがそれは昔の人のことで、高校の時友人が同和の子がいて”家賃が安い、公共のお風呂屋さんが安い、就職に有利”などと言っていました。同和の差別がどうこういう前に同和の人の意識を変えたほうが良いかと思います。(女性、50～59 歳)
- ・大阪市内の高校に通う娘の授業で先日、部落についての時間があり娘が初めて部落問題について私に話してきました。小学校・中学校で授業があったのかはわかりませんが、授業で取り上げるのは必要な事だと思います。(女性、50～59 歳)
- ・小さい頃から差別はいけないこと、どんな人種の人も地区も全て同じ人間で絶対差別しない人になってほしいと親から学んできたのに、大きくなるに従い同和問題に関する事を多く知るにつれ、意識なくていいことも知ってしまって、良かったのかわからなくなりました。ただ、同和地区に住んでいるとか出身とかだけで差別することは絶対いけないことで、差別発言を聞いた時には必ず注意していきたいと思います。今でも差別があるのかどうかも身近ではそんな話は、ほとんど聞かなくなっています。私の周りでは…でももし今でもこのことで悩んだり苦しんだりしている人がおられたら同和人権の問題に取り組む必要があると思います。(女性、60～69 歳)
- ・同和問題について、当該地区でない場合は教育現場で取り上げられないことが多いと聞く。その点では、地元を離れて同和問題についての知識が少ない人の多い地域で暮らす人々にとって同和地区出身であることは日常生活を送る上では問題は無いと思う。自分は同和問題の現状より過去の歴史を知る方が差別の理不尽さを学べたように思う。(女性、60～69 歳)
- ・周囲にそうした地域にお住いの知り合いもなく、実体験も聞くことなく過してきました。今回のアンケートが届くまで、そうした問題は既に解消されたものと思っていました。上に書いたそうした地域もどこがそうなのか、あやふやです。でもその歴史を知ることは大事だと思います。資料等で目に触れる機会があれば、読もうと思います。(女性、60～69 歳)
- ・この問題がわざわざ論議される事なくオープンな話になってそれぞれ理解しあえる時代になれば良いとつくづく思う。大東市にはこの問題に力を入れていると聞いたが、かたよる事なく市民全員に公平な行政運営していただきたい。こだわっている以上進歩はないと思う。(女性、60～69 歳)
- ・同和問題については積極的に教育・育成を年少時から実施し、課題や解決策を率直的に討議をすることにより、身近な問題を認識することが重要。行政(自治体)も積極的に広報活動を行い、具体的なケースや問題などの原因を共有し対策を行う環境を育成すべきと考えます。貴部署の活動を期待いたします。(男性、70～79 歳)